

2012年 天溪「インカ道トレックとマチュピチュ遺跡 11日間」

第1部

「インカトレイルとマチュピチュ遺跡 11日間」を 5月10日～5月20日に行いました。

クスコからマチュピチュ遺跡等へインカ帝国が築いたインカ道(CAMINO INKA)、その一部 約50Kmを3泊4日かけテント泊でトレックしました。 サボテンの生える乾燥帯から僅かな距離でジャングル化する気候の変化、標高4200mのワルミワニユスカ峠越え、点在する遺跡の数々などに感動、感激し、最後に太陽の門(インティブンク)からマチュピチュ遺跡へ。 遺跡正面の山、ワイナピチュ山(2750m)にも登り、悠久インカを楽しんで来ました。



(サルカントイ 6271m 5/16日)

○インカ帝国の首都クスコ、ウルバンバ川沿いのオリヤンタイタンボに1泊後、82Km地点の公園管理事務所で入山手続きを済ませトレックスタート。 82Km地点とはクスコからの鉄道距離を表し、終点のマチュピチュ村は111Km。 初日のトレックはサボテン(果実は美味)が生える乾燥地帯を干物状態で幕営地のワイリャバンパへ。 下段コップの写真はトウモロコシの発泡酒「チチャ」 インカ時代から伝わる地酒ですがアルコール分は低く酒豪の皆様には??



○トレック 2日目:難関のワルミワニユスカ峠(4200m)越えの日。高山病の発症を抑えるために歩行スピードに気使いなから高度を上げて行きます。 幕営地パカイマユの夕食後、夜7時にテントから夜空を覗くと漆黒の暗闇におりなす

北斗七星と南十字星のコラボレーションを見る事が出来ました。星降る夜空の感動を画像で紹介できないのが残念です。尚、北極星は地平線下でここからは見えません。



(ワルミワニュースカ峠へ 5/14 日)



○トレック3日目:遺跡が点在し、美しいインカ時代の石組道やトンネルが残るまさしく“インカ道”をトレック。何でこんな高山にわざわざ道を作ったのかと思案しながら進むと視界が開け稜線上の幕営地プユパタマルカへ。3年前、ここで3時間に及ぶ雷雨に遭ったなどと考えながら就寝すると夜半にテントを叩く雨の音。5月は乾季のはずなのですが?



(インカ道の石組み 5/15 日)





今回はマチュピチュ遺跡とワイナピチュ山登頂をお送りします。

PS: マチュピチュ遺跡へ向かうインカ道は公園管理事務所によりトレッカー・ポーター・ガイド 全て合わせ1日500人に厳しく入山規制されています。日本では余り知られておりませんが、世界的人気のこのコースはアメリカ人を中心に昨今大変な混雑です。今年は2月中旬に6月迄満員になっています。おまけにキャンセル待ちは一切ナシ。今後この時期、このコースをお考えの皆様は状況を確認の上、少なくとも1月中にご旅行手配される事をお奨めします。

記 天溪 赤沼